

地域密着型事業所の交流会を行いました

地域包括支援センターでは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための仕組みづくりとして、地域密着型サービス事業所(デイサービスや特別養護老人ホームなど)の交流会を開催しました。今回は、旧鈴村邸(愛妻家珈琲)で多世代交流のイベントを行っている飯田さんご夫婦にも参加していただき、「地域との関わりについて」をテーマに、現在の活動や抱えている悩みについて意見交換を行いました。

交流会で共有された「現場の声」は、コロナ禍を経て、以前のような夏祭りや行事が中止となり、地域住民の皆様との交流が減ってしまったことへの危機感が多くの事業所から聞かれました。現在は、河川や公民館の清掃といったボランティア活動への参加が中心となっていますが、今後はさらに一歩踏み込んだ関わりを模索しています。「多世代が交流できる地域食堂のような場を作りたい」「高齢・障害・児童といった分野の垣根を越えた取り組みが必要」「災害時に地域住民をどう受け入れるか、連携を強化したい」といった、前向きなアイデアや課題が共有されました。また、日常の小さな挨拶や移動販売の受け入れなど、地道な関わりが地域との絆を築く第一歩であることを再確認しました。

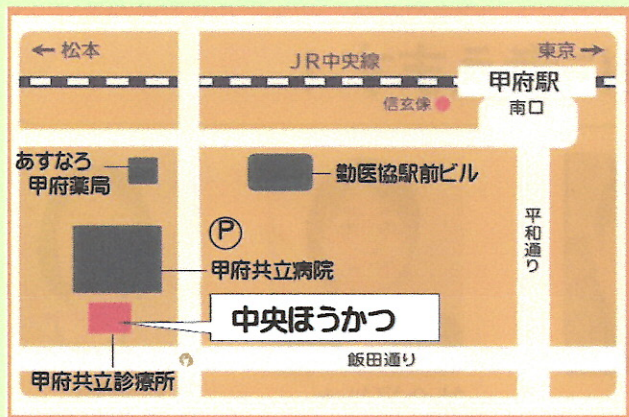
今後は、事業所間のネットワークをさらに強め、「福祉をテーマにしたイベント」や「多世代が自然に集える場づくり」を検討していきます。事業所が単なる施設ではなく、地域の「見守り」や「支え合い」の拠点となれるよう、センターとしても支援を続けてまいります。

地域密着型事業所とは？

その地域(市町村)にお住まいの方を対象に、住み慣れた地域でできる限り暮らし続けられるよう介護サービスを提供する事業所です。地域に根ざし、住民の皆様と共に歩むことを大切にしています。

旧鈴村邸とは？

甲府市丸の内にある昭和24年に建築された邸宅。愛妻家珈琲店とともに地域の交流拠点としてR6年12月にオープンしました。オーナーの飯田さんが定期的に多世代をつなぐイベントを開催しています。(住所:丸の内2丁目7-14)



甲府市宝 1-10-5 甲府共立診療所 3階

中央ほうかつ

65歳以上の方の健康・介護・福祉等の
総合相談窓口 (甲府市から委託を受けています)
です。お気軽にご相談ください。

☎ 225-2345

